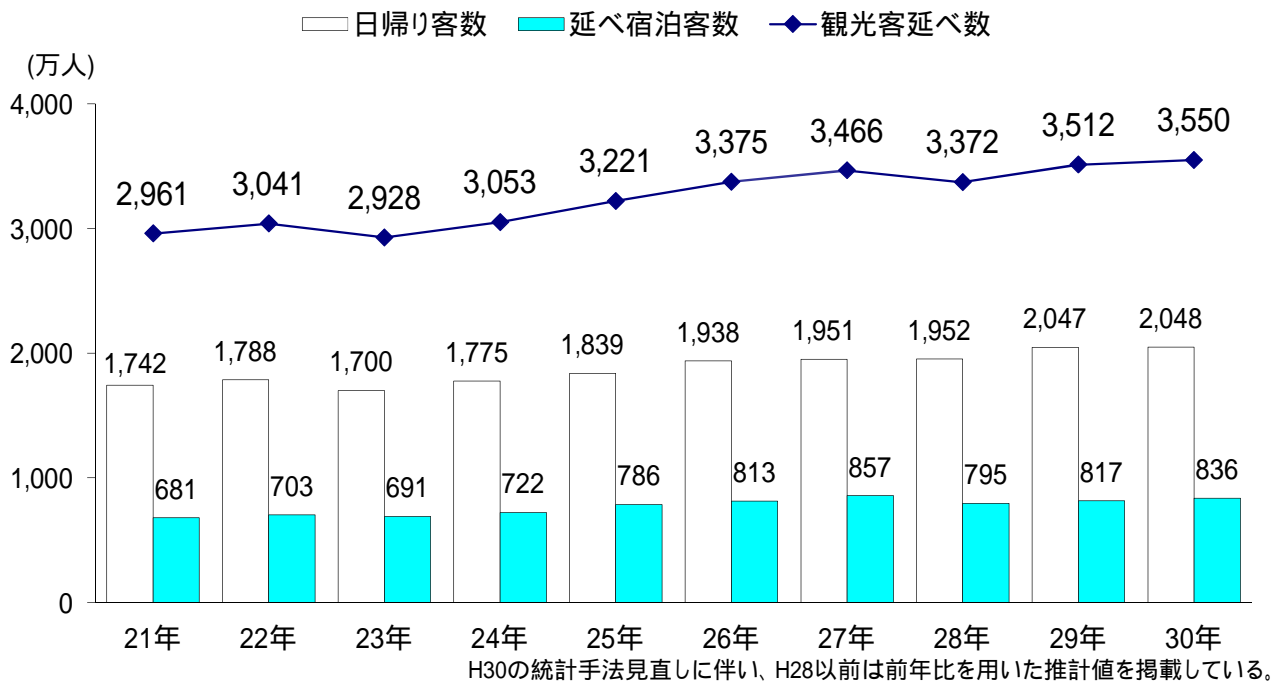


年次別観光客推移



平成30年の観光客数は、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産登録効果により構成資産や周辺施設への来訪者が大幅に増加したこと、クルーズ客船の乗客乗員数が5年連続で過去最高となったことなどから、観光客延べ数は38万人増加し、過去最高であった平成29年を上回る3,550万人（対前年比+1.1%）となった。

宿泊客は、外国人宿泊客が過去最高となったことに加え、世界文化遺産登録効果などから、延べ宿泊客数は、平成29年から19万人増の836万人（対前年比+2.3%）となった。

一方で、日帰り客は、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産への来訪者やクルーズ客船の乗客乗員数が増加したものの、前年に集客力のある展覧会が開催されていたことや夏場の猛暑の影響により屋外型観光施設の入場者数が減少したことなどから、平成29年から1.5万人増の2,048万人（対前年比+0.1%）と微増にとどまった。

平成30年の観光消費額は、平成29年の3,765億円を上回り、3,778億円（対前年比+0.4%）となった。

日帰り客、宿泊客別に見ると、日帰り客は、1,654億円（対前年2.5%）となり、宿泊客は2,124億円（対前年比+2.7%）となった。

（県観光振興課）